

対象国の条件：

研修コース番号：201984915-J002

案件番号：201984915

主分野課題：環境管理/水質汚濁

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

急激な人口増加と居住区の拡大にともない、適切に処理されないし尿や汚水の排出による河川、地下水および湖沼の汚染が深刻な社会問題になっている。下水処理システムの整備は長期にわたり莫大なコストがかかる。し尿や汚水を排出するその場所で衛生的に処理する浄化槽は、コスト面で優れており、生活排水がもたらす水質汚染に対する有効な解決策であり、さらに安全な水環境の実現および保全に貢献する。
本コースは包括的な分散型汚水処理システム、すなわち水質汚染防止のための法規制、し尿および排水処理の方法、ならびに浄化槽の維持管理の方法等を提供する。

目標／成果

対象組織／人材

【案件目標】

分散型汚水処理システム導入・普及に関する総合的な知識を習得し、汚水処理問題への対処能力が向上する。

【対象組織】

汚水・排水処理対策を担う政府関係機関、政府系公社・団体

【成果】

下記に係る知見・スキルの獲得

1. 汚水処理の基礎（汚水処理と公衆衛生、生活排水対策と排水基準等）
2. 分散型汚水処理を中心とした汚水処理の計画と財政
3. 分散型汚水処理技術・制度
4. 汚泥処理を含む分散型汚水処理システムの運営・維持管理
5. 適切な汚水処理の実施及び分散型汚水処理システムの導入・普及に向けた検討

【対象人材】

対象人材：対象組織に所属する行政官、技官、職員等
職務経験：汚水排水処理に係る業務経験を3年以上有するもの

内 容

1. 汚水処理の基礎（汚水処理と公衆衛生、生活排水対策と排水基準等）
汚水処理概論、汚水処理と公衆衛生、水環境管理・排水基準
2. 分散型汚水処理を中心とした汚水処理の計画と財政
途上国の衛生改善と分散型汚水処理の役割、途上国における分散型汚水処理の現状と課題、日本及び他の先進国における分散型汚水処理、汚水・排水処理計画、汚水処理の財政
3. 分散型汚水処理技術・制度
浄化槽技術、農業集落排水施設、生物処理、トイレ
4. 汚泥処理を含む分散型汚水処理システムの運営・維持管理
維持管理概論、日本及び他の先進国の維持管理システム、途上国における維持管理の現状及び課題、汚泥処理概論・技術

本邦研修期間

2019/8～2019/9

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA九州

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

公益財団法人北九州国際技術協力協会（KITA）

**特記事項
及び
ホームページ**

公益財団法人北九州国際技術協力協会（KITA）
<http://www.kita.or.jp/>